

1Fの安全統一ルール 22 条【第9回】



昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

第17条「カッターナイフ・グラインダー 使用時は、切創防止手袋を使用」

カッターナイフやグラインダーを使用するときは以下を順守した上で、切創防止手袋を使用してください。

- 作業条件に応じて主管G、元請の協議で判断
- グラインダーは両手で使用

第18条「工具類（腰道具）には必ず、落下 防止措置を施す」

高所での作業では、工具や部品などを落とさないよう十分注意だけでなく、その下で作業している作業員の安全のために、工具類（腰道具）には必ず落下防止措置を施すようにしてください。

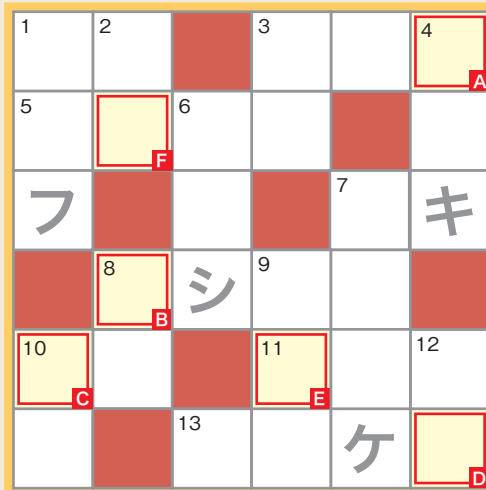
いこいの時間

クロスワード

今月はクロスワードです。タテとヨコのキーをヒントにして、A～Fの印がついた箇所の文字を並べると、答えの言葉になります。みなさん、おわかりになりますか？

タテのキー

- 隣の青く見えるとか
- 〇〇より証拠
- 左右にある、人の呼吸器官
- 「アクアマリンふくしま」がある市
- 女子⇄？
- 踊りの順序を考える人＝〇〇〇〇師
- 一級河川の阿武隈といったら何の名前？
- フルーツ
- 空に架かる7色の橋
- ピンと共に資源ゴミ



ヨコのキー

- 昔は殿様が住んでいました
- ココをモデルにした「スパリゾートハワイアンズ」
- 会津富士とも呼ばれる「〇〇〇〇山」
- 早春の山菜「〇〇のとう」
- 借りること&貸すこと
- ガーデン
- 里帰り先
- 理科や科学で器具を使って実際に行うもの



A	B	C	D	E	F

答え

応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 1月20日～2月3日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合がございます



協力：日本マーケティング協会さま

1FOR ALL JAPAN ウェブサイトの紹介

<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2017年1月号

【発行日】2017年1月20日
【発行】
1 FOR ALL JAPAN 事務局
(東京電力ホールディングス SC室)
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp

ウェブサイトはこちら！



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2017年

1月

月刊いちえふ。

増田CDO※、内田所長からのメッセージ

あけましておめでとうございます。

年末年始も作業に携わっていただいたみなさん、本当にありがとうございました。

震災後6回目のお正月となりましたが、福島第一は、みなさんのおかげで設備や環境が大きく改善されました。日ごろの努力に重ねて御礼申し上げます。

しかし、残念ながら昨年末には、トラブルの公表遅れやヒューマンエラーによる設備の停止などで周辺地域のみなさまをはじめ、広く社会のみなさまに心配をおかけしてしまいました。

私たちは、帰還や復興が進む地元の方々に安心してお戻りいただけるよう、1Fを安定させること、そして1Fで行われていることを迅速にわかりやすくお伝えすることが大変重要だと考えています。

そこで、福島第一で働く全員がプロとして当たり前のことをきちんと行うのはもちろんのこと、現場で何か発生したり、普段と違うことに気づいたら、すぐに復旧班長に連絡するなど、再度徹底をお願いします。

今年は、1月から2号機PCV内へロボットを入れたり、3号機で使用済燃料取り出し用のカバーの組み立てを開始するなど、廃炉の核心に近づく仕事が増えてきます。これから30年、40年にわたってみなさんが安全・安心に働ける現場になるように作業環境の改善と基礎・基盤の整備も進めていきます。

福島第一の廃炉を着実に進め、明るく楽しい職場となるよう、福島第一で働く6000人で力を合わせて頑張っていきませんか。今年もよろしくをお願いします。ご安全に！

※CDO: Chief Decommissioning Officer(廃炉・汚染水対策最高責任者)



1Fで働く企業の所長のみなさまとの意見交換会



所長のみなさまにウェブサイト、「月刊いちえふ。」のリニューアルについて「見やすくなった」などのご意見をいただきました。また、ご要望いただいていた「周知のチラシ」を作成し、安全推進協議会を通じて配布しました。ぜひご意見・ご要望などお待ちしております！

1Fを守る
仲間たち

22 スリーエス

東北事業部 福島第一原発事務所 東京電力HD福島第一原発派遣隊のみなさん

働きやすい環境づくりに
警備の仕事で貢献しています

1Fの安全・安心を守り、気持ちよく働ける環境をつくるために尽力しているのが警備会社スリーエスのスタッフです。その派遣隊として1Fの警備を担っているお二人に、やりがいや工夫している点、そして1Fで働く思いなどをお聞きしました。

—— 警備の仕事は長くやっていらっしゃるのですか。

梅澤さん：途中、一時他社で働いたこともありましたが、スリーエスに戻ってきて、合わせて20年以上になります。定年まで5年を切ったタイミングで当社派遣隊の1F総責任者という立場になったので、これが最後の仕事だというくらいの意識で取り組んでいます。

松田さん：私はこの会社に入るまでずっと営業系の仕事をしていたので、最初は戸惑いもありましたが、続けているうちに警備の世界で働くことの楽しさを知りました。私も来年1月で定年を迎えますが、その後も嘱託として、復興に向け自分ができることは積極的に手伝っていきたいという気持ちでやらせていただいています。

Message

作業員のみなさんが気持ちよく働けるように、快活な挨拶を励行しています。

うめさわ しげ
梅澤 重さんまつだ ひろし
松田 博敏さんあいさつ れいこう
挨拶の励行で作業員の信頼を獲得

—— どんな点に仕事のやりがいを感じていますか。

梅澤さん：自分が1Fの安全を守っている、という意識はやはり強く持っていますね。仕事に誇りを感じながら、毎日の任務遂行を心がけています。また、警備のノウハウを学びながらステップアップしていけますし、仕事の中でいろいろな方と話すことができることもよい点だと思います。

—— 仕事で工夫していることはありますか。

松田さん：チームのメンバーに挨拶を徹底させています。入構時はもちろん、帰りの際も「おつかれさまでした」と声をかけていますね。最近は逆に作業員の方から声をかけていただくこともあります。気持ちよく挨拶をするという私たちの姿勢が浸透してきたのだなと感じています。

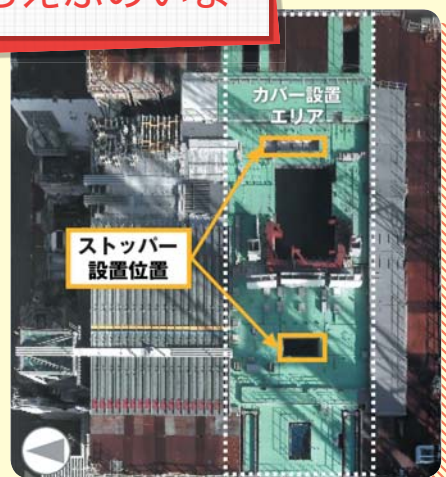
つと
お勤め先

株式会社スリーエス

1978年設立。「安全と安心」を支えるため、さまざまな施設に警備スタッフが常駐し、出入管理や巡回点検、保安といった警備業務を担う。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/22/>

いちえふのいま



23 大木組

工事本部 相笠 敏秋さん

緊張感のなかでも仕事は楽しく
終わってからの気分転換も大切

1Fの構内では、建物に足場をかけたり、足場の上でさまざまな作業が行われています。そうした作業を担当しているのが大木組です。現在、固体廃棄物貯蔵庫第9棟の建設現場で、PC建方工事全体を管理している相笠敏秋さんにお話を聞きました。

—— PC架設工事とはどのような工事なのですか。

PCとは「プレキャストコンクリート」を略したものです。まず、建物の梁にあたるコンクリートの部分を前もって工場でつくっておきます。現場では柱にあたる部分を組み立てておき、そこに工場でつくった梁を運び込んで組み立てるのです。そして、グラウトと呼ばれる原料を水で練ったもので、柱のつぎ目を埋めていきます。これがPC工法と呼ばれるものです。

現在、私たち大木組は、前田建設工業を中心とした各職種の協力会社で仕事をしており、クレーンを使ったPCの据え付け作業やグラウトの注入を担当しています。

1Fでは「守られている」という実感がある

—— どういうことにやりがいを感じますか。

1Fではほかの現場とは違って、放射線量や作業時間など、

Message

廃炉に向けて頑張っている人がいることを、世間のみなさんに知ってもらいたいです。



さまざまな制限があります。そうしたなかで、さまざまな工夫をしながら仕事をやり遂げたときの達成感は格別です。

—— 1Fに来てよかったと感じることはありますか。

放射線に対する教育を受けて、知識が増えたのはよかったです。残念ながら、東京に帰ると、単に「放射線は怖い」という程度の知識しかない人が多いように見受けられます。

確かに、いくら耳で聞いていても、実際にこういう場所に来てみると、線量をきちんと管理していることがピンとこないのでしょうか。でも、ここで働いていると、「守られている」ということを実感します。放射線量の基準がはっきりと示されており、超えそうになったら戻すことを義務づけられていますので安心です。しかも、その基準自体もかなり余裕をもって設定してあるので、これを守っていれば健康面で心配することなく仕事に集中できます。

つと
お勤め先

株式会社大木組

1949年創業。鷹工・土工工事、PC組み立て工事などを得意とする。超高層ビルをはじめ、高い技術が求められる建築現場を数多く担う。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/23/>

ご意見を基にさらに環境を改善します

8月から10月にかけて実施された第7回アンケートには、9割近い作業員の方（6182人）の回答をいただきました。前回と比べ、労働環境がよいというお答えがさらに増えていましたが、さらなる改善を進めてまいります。

2号機では、原子炉格納容器の内部調査に向けて、配管貫通部への穴あけ作業を行いました。1月には、穴を通してカメラを中に入れて事前調査をします。3号機では、燃料取り出し用カバーを固定するためのストッパーの設置作業を1月から開始します。